

【 結 果 の 概 要 】

1 回答者の属性について

- 性別：男性 622 人(42.9%)、女性 811 人(55.9%)
- 年齢：18～19 歳 (2.0%)、20～29 歳 (9.9%)、30～39 歳 (11.1%)、40～49 歳 (14.1%)、50～59 歳 (17.6%)、60～69 歳 (25.0%)、70～79 歳 (13.9%)、80 歳以上 (6.0%)

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約7割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、6割以上の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約9割と圧倒的に多く、また治安も良く、住民が親切で、人と人との繋がりががあると約6割の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約半数の人が「整っていない」と感じている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「農業の活力増進」「農林水産・畜産業の担い手育成」の農林水産関係、また「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光客推進」等の観光関係に『不満』の意見が多い。しかし、「豊かな自然環境の保存・活用」「観光資源を活用した誘客の取組」「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減」等の取組には『満足』と感じている。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産業の担い手育成」「農業の活力増進」「農林水産物の販売戦略」等の農林水産関係を優先すべきとして意見が上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「若者の出会い、結婚応援」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」「子どもたちの多様な学びの機会への取組」に『不満』を感じている。しかし、「安心して出産や子育てできる環境」は『満足』と感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「安心して出産や子育てができる環境」「子どもたちに多様な学びの機会」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」等の子育てや中山間地域に関する項目、また「高齢者や障がい者が輝ける地域づくり」「若者の出会い、結婚応援」等の意見が上位項目となっている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「暮らしやすく、まちを元気にしていく」「働く場の確保」「新たな産業を生み出す」等に『不満』を感じている意見が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「働く場の確保」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」の取組を5割以上の人が優先すべきと答えている。

【県政のさまざまな取組】

- 「医療体制の強化」「地域犯罪や交通事故の抑制・防止」については、やや『満足』と感じている人が多いが、「県内交通の高速化」については、約4割の人が『不満』を感じている。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」が5割以上、「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」が4割以上の人が優先すべきと答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

＜子育て施策(男性の育児参加)について＞

- 男性の育児参加の推進について、「イクメン」が約9割の認知度がある。
- 男性の育児参加について、約9割の人が「良いこと」だと感じている。
- 男性の育児参加促進のためには企業・家庭への経済的支援、育児休暇の義務化を必要とする意見が多くみられる。
- 男性の育児休業取得が進まない要因は、経営者、上司の理解不足や所得への影響面、意識面を要因とする意見が多くみられる。

＜女性の活躍推進について＞

- 「ワーク・ライフ・バランス」は約3割、「男女共同参画社会」は約5割が認識している。
- 男女に関する役割などについて、約9割の人が「現実として家事が女性の役割となっていると思う」「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」と答え、また7割強の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 女性が仕事を続けるための行政が果たす役割について、6割以上の人が「保育園や幼稚園などの子育て施設や学童保育などの子ども預かり施設の充実」、4割前後の人が「男性の育児参加や育児休業・休暇取得の促進」「短時間勤務制度や在宅勤務制度、テレワーク制度など多様な働き方の導入促進」と答えている。
- 介護経験について、「ある」「ない」共に4割強となっている。実際に介護をしたのは要介護者から見て「息子の嫁」が最も多く、次いで「妻」、「娘」など女性が介護をしている事がわかった。
- 介護をした方への仕事への影響は、「退職した」「有給休暇を取得した」がともに高くなっている。
- 家族が要介護者になった際に行政等にしてほしいことは、「要介護者それぞれにあわせた各種サービスの増加」「介護サービスに係る情報提供・相談支援体制の充実」が約5割と共に高くなっている。

＜出生率＞

- 希望出生率（1.95）を実現するために今後強化すべきことは「出産・育児で仕事を離れた方がスムーズに社会復帰できる環境や、男女ともに子育てしながら安心して働くことのできる職場環境の整備」「子どもを安心して預けられる体制の整備（保育所・認定子ども園などの増加）」が共に5割上と高くなっている。
- 若い世代の未婚化、晩婚化傾向に対する行政の施策は「出会いの機会の創出や結婚に関する相談受付などによる若い世代の結婚サポート」が約4割強と最も高くなっている。

＜あなたの幸福度について＞

- 鳥取県に暮らしてあなたの幸福度について「5 普通」以上が約8割であった。
- 幸福度を判断するとき6割以上の人が「自身の健康の状況」「家計の状況」と答えている。